令和７年度　特色ある学校づくり推進事業　計画書

学校番号	24	豊田市立　青木小　学校	代表　小山　幾子

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ、h：伝統文化、iその他（　）】から選ぶ。

テーマ	つながりを大切にした「感動いっぱい」の学校	分野	F	交流体験
	サブテーマ　　－ あいさつ　思いやり　基礎基本 －	i(その他）は分野を右欄に記入		

学校づくりの視点（ねらい）

１　20年目となる「五つのいっぱい」を合言葉に、大地に根を張り、日々成長しようとする「一本松」の４つの観点(みがく力・つなぐ力・考えぬく力・えがく力）を大切にして、笑顔あふれる活力ある学校を目指す。
【児　童】学ぶ楽しさや喜びを実感し、自分から進んで学ぼうとする。
【教職員】それぞれの持ち味を生かし、創意工夫を楽しみながら、児童を支え、児童の成長に寄与する。
【学　校】「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という理念を、家庭・地域と共有し、地域の一員として連携・協働しながら教育活動に取り組む。

２ 人とのかかわりを苦手とする児童への個別対応の充実を図る。
・校内はあとラウンジを中心に、心の相談員とのふれあいを通して心の安定を図り、よりよい対人関係を築くことができるようにする。

３ 校舎内外の教育環境の整備を図る。
・校内の環境を整えるために校内整備員を配置し、全校児童が安全に「五つのいっぱい」を目指す活動に取り組むことができるように支援する。

活動内容・計画

＜活動内容＞
ア「花いっぱい」 学級活動や児童会活動の充実を図り、校内・地域の美化に努める。
イ「歌いっぱい」 歌を楽しみ、仲間と共に声を合わせて歌う楽しさを味わう
ウ「あいさついっぱい」 学校・家庭・地域でのあいさつを定着させ、人と人との心の交流を図る。
エ「気づきいっぱい」 地域の福祉施設や園・中学校との交流を充実させる。保護者や地域の方の協力を得て、体験的な学習を推進する。市の教育プログラム等を有効活用し、学ぶ意欲を高め、探究的な気づきを広げる。
オ「汗いっぱい」 縦割り班の活動を通して、目的や役割を考え、責任や思いやりの心を育てる。

＜活動計画＞
・花、野菜を育てる活動（全学年）
・地域の人、こと、ものにふれる体験的学習（全学年）
・施設や園、中学校との交流（１年・５年・６年・特別支援学級）
・あいさつ運動（全学年）

補助員配置

・校内整備員
・心の相談員

実績・期待される効果

＜達成度＞
・どの活動も概ね達成できている。
＜判断理由＞
ア 委員会の児童が毎日の水やりや季節ごとの植え替えに励み、四季を通じて花のある学校となった。
イ 毎朝意欲的に合唱練習に取り組み、校内や地域で成果を発表することができた。
ウ 委員会の児童があいさつ運動を実施し、自ら元気なあいさつができた。
エ 地域の施設や中学校、園との交流で、相手の立場に立って考えることを学んだ。保護者や地域の方の協力で、安全に充実した体験的学習ができた。
オ ６年生の計画で縦割り遊びや長縄跳びを楽しむことができた。

・補助員の配置により、子どもたちが安心・安全な環境で意欲的に諸活動に取り組むことができた。

検証方法

・授業参観や学校ホームページ、学校だよりを通して、生活科や総合的な学習の時間、各教科の授業、特別活動を公開・発信し、子どもたちの活動の姿を伝える。
・地域との連携と協働による学習活動が保護者の理解を得ているか、保護者アンケートで検証する。
・校内整備員については、安全点検後の修繕状況、草刈り等の活動状況と子どもたちの活動の様子から検証を行う。
・心の相談員の活動については、児童や保護者の来室の様子や問題を抱えている児童の登校の様子を観察する。相談員の活動記録からも検証する。